

農林水産・食品分野の公募情報（2025年2月4日）

1月28日以降の新規の情報を赤字で示しています。

【研究開発関連】

■省庁等

- ・農林水産省（技術会議事務局）：「令和7年度 みどりの食料システム戦略実現技術開発・社会実装促進事業（委託プロジェクト研究）」

<https://www.affrc.maff.go.jp/docs/press/250117.html>

分野等：

1. 環境負荷低減対策研究
環境低負荷型の化学農薬施用技術の開発
2. 気候変動適応研究
 - 1) 気候変動に対応するための農林水産業の温暖化適応技術の開発～農林業における気候変動適応技術～
 - 2) 気候変動に対応するための農林水産業の温暖化適応技術の開発～畜産業における適応技術～
 - 3) 気候変動に対応するための農林水産業の温暖化適応技術の開発～海水温上昇に対する養殖業の適応技術～

公募期間：2025年1月17日～2月28日

- ・農林水産省（消費・安全局）：「令和7年度 安全な農畜水産物安定供給のための包括的レギュラトリーサイエンス研究推進委託事業（うち課題解決型プロジェクト研究）」

https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/gi_jyutu/250121.html

分野等：動物衛生対応プロジェクトのうち、豚熱清浄化及びアフリカ豚熱防疫体制強靱化のための技術開発促進プロジェクト

公募期間：2025年1月21日～3月10日

- ・国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構：「スマート生産方式SOP（スマート農業技術導入・運用手順書）作成研究」

<https://www.naro.go.jp/smart-nogyo/info/news/167180.html>

分野等：

スマート農業技術の導入を推進するため、主要な営農類型や技術体系ごとに、スマート農業技術の導入効果を着実に発揮させる栽培体系等やサービス事業者等を介した技術の運用方法を検証し、スマート農業技術導入・運用手順書を作成する研究について、公募を通じて委託する。公募する研究テーマは以下のとおり。

1. 水田作
 - 1) 機械除草やこれに必要な精密な移植・水管理技術等の導入による有機水稲生産体系の確立
 - 2) 中山間地域におけるスマート農業技術を活用した超省力的・低コスト生産体系の確立
2. 畑作
高低差センシングを活用した排水改良等による高位安定生産体系の確立
3. 露地野菜・花き作
自動収穫ロボット等の導入による精密栽培管理体系の確立
4. 施設野菜・花き作
環境・出荷調製のロボット制御等の導入による効率的生産・出荷体系の確立
5. 果樹・茶作
自動化技術の導入による効率的生産・出荷体系の確立
6. 畜産・酪農
畜産施設の環境制御や個体モニタリング等の導入によるスマート畜産経営の確立

公募期間：2024年12月25日～2025年2月14日

- ・国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構 生物系特定産業技術研究支援センター：「スマート農業技術の開発・供給に関する事業」

<https://www.naro.go.jp/laboratory/brain/smart-nogyo/offering/koubo/2024-3.html>

分野等：

1. 重点課題対応型研究開発（民間事業者対応型）
特に重要度が高いスマート農業技術の開発・供給を促進するため、スマート農業技術活用促進法に基づく重点開発目標に沿った民間企業等による研究開発を実施。
2. 現場ニーズ対応型研究
中山間地域を含む多様な現場ニーズに対応したスマート農業技術の開発・供給を促進するため、スタートアップ、異業種、農機メーカー、大学、公設試、高専等と産地が連携した機動的な研究開発を実施。

3. 技術改良・新たな栽培方法の確立の促進

スマート農業技術を円滑に産地へ供給することを目的に、農機メーカーや農業支援サービス事業者等などが実施する、プロトタイプ製造段階における新しく開発する機能の付加や性能向上、運用性向上のための改良とともに、技術に適合した新たな栽培方法の確立を実施。

公募期間：2024年12月27日～2025年2月14日

- ・国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構 生物系特定産業技術研究支援センター：「革新的新品種開発加速化緊急対策のうち政策ニーズに対応した革新的新品種開発(提案公募型)」

https://www.naro.go.jp/laboratory/brain/hinsyu-kaihatsu_r6hosei/offering/koubo/2024.html

分野等：

今後の国内農業の基盤となる革新的な新品種の開発についての研究を対象とする。例としては以下のとおりである。

- ・環境負荷低減に資する耐病虫性品種
- ・急激な気候変動下でも生産性を維持する高温耐性品種
- ・生産性向上に資する多収性品種
- ・スマート農業の推進に資する機械作業適性品種
- ・国産への転換や輸出の促進に資する高付加価値品種
- ・輸入に依存する肥料の使用量低減に資する BNI 強化作物品種

公募期間：2025年1月8日～2月5日

- ・国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構 生物系特定産業技術研究支援センター：「令和7年度オープンイノベーション研究・実用化推進事業」

<https://www.naro.go.jp/laboratory/brain/open-innovation/offering/koubo/2025.html>

分野等：産学官が連携して取り組む農林水産・食品分野での社会実装を目的とした革新的な研究シーズを創出する基礎研究や、基礎研究等の成果を社会実装するための実用化段階の研究開発を支援する。

公募期間：2025年1月31日～3月4日

- ・林野庁：「林業デジタル・イノベーション総合対策のうち戦略的技術開発・実証事業」

https://www.rinya.maff.go.jp/j/supply/hojyo/R07koubo_1/07mhk0117.html

分野等：

1. 林業機械・新技術の開発・実証
2. ソフトウェア等の開発・実証
3. 通信技術の開発・実証
4. 木質系新素材の開発・実証

公募期間：2025年2月3日～27日

- ・林野庁：「林業・木材産業循環成長対策のうち優良種苗生産推進対策のうちエリートツリー等の原種増産技術の開発等事業」

https://www.rinya.maff.go.jp/j/supply/hojyo/R07koubo_1/07mhk0119.html

分野等：

1. 増殖技術の最適化と施設型採種園の管理技術の開発
2. 無花粉スギの生産・増殖効率の改善

公募期間：2025年2月3日～27日

- ・林野庁：「花粉の少ない森林への転換促進対策のうち細胞増殖による苗木大量増産技術の開発事業」

https://www.rinya.maff.go.jp/j/supply/hojyo/R07koubo_1/07mhk0120.html

分野等：

1. スギの細胞の増殖等に関連する遺伝子の基盤情報の整備・解析
2. 細胞増殖を効率化するための技術開発
3. 細胞増殖により生産された苗木の順化・成長情報の整備・解析 等

公募期間：2025年2月3日～27日

- ・林野庁：「木材需要の創出・輸出力強化対策のうち木質バイオマス利用環境整備事業」

https://www.rinya.maff.go.jp/j/supply/hojyo/R07koubo_1/07mhk0106.html

分野等：「地域内エコシステム」技術開発・実証事業 等

公募期間：2025年2月3日～27日

- ・林野庁：「世界遺産の森林生態系保全対策事業」

https://www.rinya.maff.go.jp/j/supply/hojyo/R07koubo_1/07mhk0113.html

分野等：

1. 「小笠原諸島」における森林生態系保全のための技術開発

2. 「奄美大島、徳之島、沖縄島北部及び西表島」における森林生態系保全のための技術開発

公募期間：2025年2月3日～27日

・水産庁：「令和7年度豊かな漁場環境推進事業のうち海域特性に応じた赤潮・貧酸素水塊、栄養塩類対策推進事業」
https://www.jfa.maff.go.jp/j/gyosei/supply/itaku/250127_su_akashio.html

分野等：海域ごとの赤潮・貧酸素水塊や栄養塩類不足による漁業被害への対策技術の開発・実証・高度化として、赤潮・貧酸素水塊について、近年の発生状況も踏まえた予察、被害軽減等の技術の開発・実証・高度化を行うとともに、栄養塩類等の水質環境について、水産資源との関係やそれに及ぼす影響の解明等を行い、海域ごとの特性に応じた栄養塩類管理方策の検討・策定・提供を行う。

公募期間：2025年1月27日～3月7日

・水産庁：「令和7年度ウナギ種苗の商業化に向けた大量生産システムの実用化事業」

https://www.jfa.maff.go.jp/j/gyosei/supply/itaku/20250203_unagi-seedling.html

分野等：ウナギ養殖の種苗については、全て天然資源に依存する状況にある中で、シラスウナギの漁獲量の低迷により種苗供給が不安定な状況にあり、国民への安定的なウナギの供給が懸念されている。現在、国立研究開発法人水産研究・教育機構を中心に、ウナギ種苗の大量生産技術の確立に取り組んでいるところであるが、種苗大量生産の事業化を加速させる施策を講じる必要がある。このため、工学等異分野の技術の導入や産学官での連携を行い、これまでの実証事業で得た技術開発の成果を踏まえ、①仔魚の生残率の向上、②再現性の向上、③省力化・省コスト化等の実証試験に取り組み、ウナギ種苗を大量生産する際に必要な知見を得る。

公募期間：2025年2月3日～3月4日

・環境省：「令和7年度地域共創・セクター横断型カーボンニュートラル技術開発・実証事業（環境省R&D事業）（一次公募）」
https://www.env.go.jp/press/press_04167.html

分野等：CO2排出量大幅削減及び地域活性化の同時達成、これらを通じた「パリ協定に基づく成長戦略としての長期戦略」で掲げる早期の脱炭素社会の実現、ひいては第六次環境基本計画に掲げる「循環共生型社会」の構築に向け、将来的な気候変動対策の強化につながるCO2排出削減効果の高い技術の開発・実証を公募する。

公募期間：2025年1月9日～2月7日

・独立行政法人日本学術振興会：「令和7(2025)年度国際共同研究加速基金（国際先導研究）」

https://www.jspss.go.jp/j-grantsinaid/35_kokusai/05_sendou/koubo.html

分野等：我が国の優秀な研究者が率いる研究グループが、国際的なネットワークの中で中核的な役割を担うことにより、国際的に高い学術的価値のある研究成果の創出を目指す。ポストドクターや大学院生の参画により、将来、国際的な研究コミュニティの中核を担う研究者の育成にも資する。

公募期間：2025年1月9日～3月14日

・JST：「2024（令和6）年度 研究成果展開事業 研究成果最適展開支援プログラム（A-STEP）実装支援（返済型）」

<https://www.jst.go.jp/a-step/koubo/hensai.html>

分野等：大学等の研究成果の社会実装を目指す、スタートアップ等による実用化開発を、開発費貸付で支援する。出資（エクイティ）と異なり、株式を発行せずに調達可能な資金（デット）として利用できる。

公募期間：2024年4月1日～2025年3月31日（審査は随時実施）

・JST：「e-ASIA 共同研究プログラム 令和7年度採択「代替エネルギー」領域、「防災」領域 共同研究課題募集」

https://www.jst.go.jp/inter/program/announce/announce_easia_jrp_14th.html

分野等：

1. 「代替エネルギー」領域

テーマ1：「水素」（製造と貯蔵；バイオ水素と廃棄物からの水素）

テーマ2：「燃料」（バイオ燃料、航空燃料）

テーマ3：「蓄エネルギー」

2. 「防災」領域

テーマ：「Use of Emerging Technologies in Disaster Risk Reduction and Management」

公募期間：2024年12月16日～2025年3月31日

・NEDO：「バイオものづくり革命推進事業（第3回公募）」

https://www.nedo.go.jp/koubo/EF2_100228.html

分野等：

1. 未利用資源の収集・資源化のための開発・実証

2. 産業用微生物等の開発・育種及び微生物等改変プラットフォーム技術の高度化

3. 微生物等による目的物質の製造技術の開発・実証
4. 微生物等によって製造した物質の分離・精製・加工技術の開発・実証
5. バイオものづくり製品の社会実装のための評価手法等の開発

公募期間：2024年11月5日～2025年2月5日

- ・NEDO：「2025年度研究開発型スタートアップの起業・経営人材確保等支援事業/ディープテック分野での人材発掘・起業家育成事業(NEP)/開拓コース」

https://www.nedo.go.jp/koubo/CA2_100478.html

分野等：

ディープテック分野での技術シーズを活用したアイデアの実現可能性調査を行う「NEDO Front-Runner (FR)」を公募する。FRは、NEDOが委嘱をした事業化支援人材「Accompany Runner」によるハンズオンの指導・助言を受けつつ、自ら起業することも視野に入れながら、技術シーズを活用したアイデアの実現可能性に関する調査として、以下等の活動を行っていただく。

- ・技術シーズの活用方法に関する探索活動
- ・技術シーズの深化のための研究開発
- ・アイデアをもとにしたビジネスモデル作成・市場調査・試作品の製作

公募期間：2025年1月6日～2月26日

- ・NEDO：「2025年度 NEDO 先導研究プログラム/新技術先導研究プログラム及びフロンティア育成事業」

https://www.nedo.go.jp/koubo/SM2_100001_00084.html

分野等：

1. エネルギー・環境新技術先導研究プログラム
2. 新産業・革新技術創出に向けた先導研究プログラム
3. フロンティア育成事業

公募期間：2025年1月27日～2月28日

- ・NEDO：「2025年度エネルギー・環境分野における革新的技術の国際共同研究開発」

https://www.nedo.go.jp/koubo/AT092_100228.html

分野等：未利用バイオマス資源を高収率で炭素源化する技術に関する国際共同研究開発 等

公募期間：2025年1月27日～3月26日

- ・NEDO：「「ディープテック・スタートアップ支援基金/ディープテック・スタートアップ支援事業 (DTSU)」に係る第7回公募及び「GX 分野のディープテック・スタートアップに対する実用化研究開発・量産化実証支援事業 (GX)」に係る第4回公募」

https://www.nedo.go.jp/koubo/CA2_100483.html

分野等：技術の確立や事業化・社会実装までに長期の研究開発と大規模な資金を要し、リスクは高いものの国や世界全体で対処すべき経済社会課題の解決にも資すると考えられる革新的な技術の研究開発に取り組んでいる「ディープテック・スタートアップ」を対象とした、表題の助成事業の公募を行う。VC等との協調やステージゲート審査の活用を制度上盛り込み、長期的視野でもって、実用化研究開発や量産化実証、海外技術実証などへの支援を行う。

公募期間：2025年1月28日～3月5日

- ・NEDO：「2025年度 NEDO 先導研究プログラム/未踏チャレンジ」

https://www.nedo.go.jp/koubo/SM2_100001_00080.html

分野等：NEDO 先導研究プログラム/未踏チャレンジは、脱炭素社会の実現に向けて、課題の解決に資する技術シーズを発掘し、先導研究を実施することで、産業技術に発展させていくことを目的とする。未踏チャレンジでは、事業開始後30年先の技術の実用化・社会実装を実現していくため、大学・公的研究機関等や産業界が有する将来有望な技術シーズを公募する。当該技術シーズを有する事業者に対して業務委託することで先導研究を実施し、有望な技術を育成する。

公募期間：2025年2月3日～4月1日

■民間等

- ・公益財団法人山田科学振興財団：「2025年度研究援助」

https://yamadazaidan.jp/requirements/grant-bosyu_kenkyu/

分野等：自然科学の基礎的研究

公募期間：2024年10月1日～2025年2月28日

- ・一般財団法人糧食研究会：「2025年度研究テーマ募集」

<https://www.ryouken.or.jp/josei/index.html>

分野等：食品機能（一次、二次、三次機能等）、食品評価（おいしさ、物性・食感等）、食品設計・加工・生産技術、食品安全、腸内細菌叢などに関する研究

公募期間：2024年10月16日～2025年2月25日

- ・公益財団法人タカノ農芸化学研究助成財団：「2025年度研究助成」

<http://www.takanofoods.co.jp/company/foundation/subsidy.shtml>

分野等：

1. 豆類や穀類の生産技術（栽培、育種、植物栄養、根圏微生物等）に関する研究
2. 豆類や穀類、並びにそれらの加工品の食品機能（栄養機能、嗜好機能、生体調節機能等）に関する研究
3. 豆類や穀類の加工、保蔵、流通技術に関する研究、並びにそれらの発酵に関連する微生物や酵素の探索、特性、利用に関する研究

公募期間：2025年1月15日～3月10日

- ・一般財団法人杉山産業化学研究所：「2025年度研究助成」

<https://www.sugiyama-c-i-l.or.jp/youkou.html>

分野等：主として「健康な暮らしを支える産業に寄与することを目的とする研究」とし、医薬、食品、健康、環境、衛生等の分野に結びつく研究領域とする。

公募期間：2024年10月?日～2025年3月31日

- ・公益財団法人海洋化学研究所：「令和7年度伊藤光昌氏記念学術助成金」

<https://www.oceanochemistry.org/>

分野等：海洋化学に関する基礎研究及び応用研究

公募期間：2024年11月?日～2025年2月7日

- ・公益社団法人新化学技術推進協会：「第14回新化学技術研究奨励賞」

https://www.jaci.or.jp/recruit/page_02_14_2025.html

分野等：

特別課題：新素材開発・新化学製造プロセスに貢献する革新的な計測・分析・評価技術に関する基盤的研究

課題1：持続可能な社会の実現を目指した環境技術の研究

課題2：新しい資源代替材料・技術の創製、および資源の節約・回収・再利用に関する基盤的研究

課題3：バイオマス由来製品の事業化課題を解決する革新的なバイオマス変換技術もしくはバイオマス由来素材の開発

課題4：エネルギー変換・貯蔵・省エネ分野における革新素材・技術に関する研究

課題5：超スマート社会を支えるエレクトロニクス材料に関する研究

課題6：マイクロナノシステムの用途拡大につながる新規な材料・加工技術、及びデバイスに関する研究

課題7：生体機能を利用した新規合成・生産・製造に貢献する基盤技術と評価技術に関する研究

課題8：生体機能・生体分子に着目した革新的ライフサイエンス材料に関する研究

課題9：新たな社会への対応を目指した脳科学および感性科学の研究

課題10：持続可能な開発目標に資する材料設計・プロセス設計のための計算科学・計算工学・データ科学の研究

課題11：世界に先駆けた新産業創出に資する「新素材」実現のための基盤的研究

課題12：持続可能な社会の実現に向けた革新的反応技術に関する研究

公募期間：2024年12月6日～2025年2月6日

- ・公益社団法人ビタミン・バイオフィクター協会：「2025（令和7）年度研究助成金」

<https://vita-bio.org/jyosei.html>

分野等：ビタミン・バイオフィクターに関する研究

公募期間：2025年1月10日～2月10日

- ・公益財団法人三島海雲記念財団：「2025年度学術研究奨励金（自然科学部門）」

<https://www.mishima-kaiun.or.jp/assist/natural-science/>

分野等：食の科学に関する学術研究

公募期間：2025年1月10日～2月28日

- ・公益財団法人三島海雲記念財団：「2025年度特定研究助成金」

https://www.mishima-kaiun.or.jp/specific_research/

分野等：「食の未来と人間社会」に関わる学術研究

公募期間：2025年1月15日～3月7日

- ・一般財団法人キーコーヒー柴田裕記念財団：「2025 年度研究助成」
<https://key-ysfoundation.jp/requirements.html?2025>
 分野等：
 1. 農作物とその加工に関する基礎的調査及び研究
 2. おいしさに関する研究
 3. 外食に関する研究
 4. 気候変動に関する研究
 5. コーヒーの品種と栽培に関する基礎的調査及び研究
 公募期間：2024 年 12 月 20 日～2025 年 2 月 28 日
- ・公益財団法人武田科学振興財団：「2025 年度生命科学研究助成」
<https://www.takeda-sci.or.jp/research/assist/life.php>
 分野等：生命科学研究分野における新たな発見に貢献し、当該分野の進歩・発展の基盤となる独創的な研究
 公募期間：2025 年 1 月 7 日～3 月 3 日
- ・公益財団法人武田科学振興財団：「2025 年度ライフサイエンス研究助成」
<https://www.takeda-sci.or.jp/research/assist/lifescience.php>
 分野等：生命科学研究分野の進歩・発展に貢献し、人類の健康増進に寄与する独創的な研究
 公募期間：2025 年 1 月 7 日～3 月 10 日
- ・一般財団法人東洋水産財団：「2025 年度学術奨励研究」
<http://toyosuisanzaidan.or.jp/academic/index.html>
 分野等：
 1. 食品の加工・保蔵に関する研究
 2. 食品の安全性に関する研究
 3. 食品の機能性に関する研究
 4. 食品または水産分野におけるバイオテクノロジーに関する研究
 5. 食品の未利用資源（または廃棄物）の有効利用に関する研究
 6. その他食品科学に関する研究 等
 公募期間：2024 年 12 月 24 日～2025 年 3 月 25 日
- ・公益財団法人土科学センター財団：「2025 年度研究助成金」
<https://geo-kagaku.or.jp/grant/>
 分野等：
 1. 土の安定化に関する学術研究、技術開発
 2. 土に関する社会学的研究
 公募期間：2024 年 12 月 25 日～2025 年 2 月 26 日
- ・一般財団法人金森財団：「2025 年度研究助成」
<http://www.kanamori-foundation.or.jp/kenkyu.html>
 分野等：電気電子工学、光学関連、機械工学、化学関連、医療機器関連、環境・エネルギー関連、材料工学、農学（機能性食品等）
 公募期間：2025 年 1 月 6 日～4 月 21 日
- ・公益財団法人関西エネルギー・リサイクル科学研究振興財団：「2025 年度研究助成」
<https://www.krf.or.jp/research>
 分野等：エネルギー・リサイクル分野 等
 公募期間：2025 年 1 月 6 日～8 月 31 日
- ・一般財団法人サムコ科学技術振興財団：「2025 年度第 9 回研究助成」
<https://www.samco.co.jp/foundation/recruitment/>
 分野等：薄膜・表面・界面に関する科学技術の発展に貢献する独創的な研究を助成することを目的として、以下の 4 領域を優先する。1. 材料科学、2. ライフサイエンス、3. 環境・エネルギー工学、4. プラズマ工学
 公募期間：2025 年 2 月 1 日～3 月 15 日
- ・特定非営利活動法人酵母細胞研究会：「地神芳文記念研究助成金 2025 年度募集」
<http://www.yeast.umin.jp/fy2025jigami-fund.html>
 分野等：酵母に関する生物科学的研究であれば基礎あるいは応用の別を問わない。また、糖鎖に関する研究は生物種を問

わず、基礎あるいは応用の別を問わない。

公募期間：2025年1月10日～4月11日

- ・公益財団法人日本生命財団：「2025年度ニッセイ財団 環境問題研究助成」

<https://www.nihonseimei-zaidan.or.jp/kankyo/02.html>

分野等：

1. 学際的総合研究
 - 1) 持続型社会の構築に向けた地域循環共生圏の形成
 - 2) 自然再生による持続性ある地域づくりと生物多様性の回復
2. 若手研究・奨励研究

ニッセイ財団の「助成の趣旨」を踏まえた環境問題研究で、若手研究者の基礎的研究・萌芽的研究や新しい分野への挑戦的研究（特に課題は設定していない）

公募期間：2025年1月14日～3月25日

- ・公益財団法人中山人間科学振興財団：「第34回（2025年度）研究助成」

https://nakayamashoten.jp/wordpress/zaidan/award_information/

分野等：特定の研究分野において優れた卓越性を持つだけでなく、人文科学、社会科学、自然科学など幅広い領域を横断し、かつ架橋する学際的な広がりをもつこと。また、単に学术界にとどまらず、一般社会にも影響を及ぼす優れた社会貢献や社会実装を目指した意欲的な研究を対象とする。

公募期間：2025年1月20日～3月10日

- ・公益財団法人天野工業技術研究所：「2025年度研究助成金（前期募集）」

<https://zai-amano.or.jp/public>

分野等：

主に以下の分野において、学術的・工業的・技術的進歩を通じ社会全体への貢献につながる研究を募集する。

1. 機械・精密機械、2. 電気・電子材料、3. 化学、環境・エネルギー

公募期間：2025年2月1日～28日

- ・公益財団法人 荏原 畠山記念文化財団：「2025年度研究助成」

<https://foundation.hatakeyama-museum.org/grants/>

分野等：風水力・流体機械、環境・エネルギー・バイオマス、半導体製造装置及びプロセス

公募期間：2025年1月24日～3月18日

- ・一般財団法人水源環境センター：「令和7年度WEC応用生態研究助成」

<https://www.wec.or.jp/support/season/index.html>

分野等：ダム貯水池に係わる生態系・水環境（上下流・周辺を含む）に関する研究

公募期間：2024年2月5日～4月4日

- ・公益財団法人本庄八郎記念お茶財団：「2025年度助成金」

<https://ocha-zaidan.or.jp/>

分野等：

1. 「お茶」または「お茶の成分」に関する研究者及び団体に対する助成支援
2. 「お茶の生産」に関する研究者、農家、団体に対する助成支援
3. 「お茶」に関する文化活動に関わる個人、団体への助成支援

公募期間：2025年3月1日～31日